

ETAP Technical Report – No. 014

Part 2 - ETAP System Dumpster (ごみ箱をきれいにする！)

概要：

ETAP の単線結線図からコピー (Copy) または 削除 (Cut) された全ての要素 (セル) はごみ箱に一時保管されます。要素または要素のグループを削除すると、それらの要素は単線結線図から削除され、元の要素と同じ ID のままごみ箱の中に置かれます。また、単線結線図の中でコピーされた要素または要素のグループは、元の要素とは異なる新しい ID でごみ箱に置かれます。削除あるいはコピーされた要素の接続情報、属性および状態などは元のまま保持されています。従って、これらの要素がごみ箱から消去 (Purge) されるまで、ごみ箱に置かれている要素が保持している ID を単線結線図の中で使用することができません。

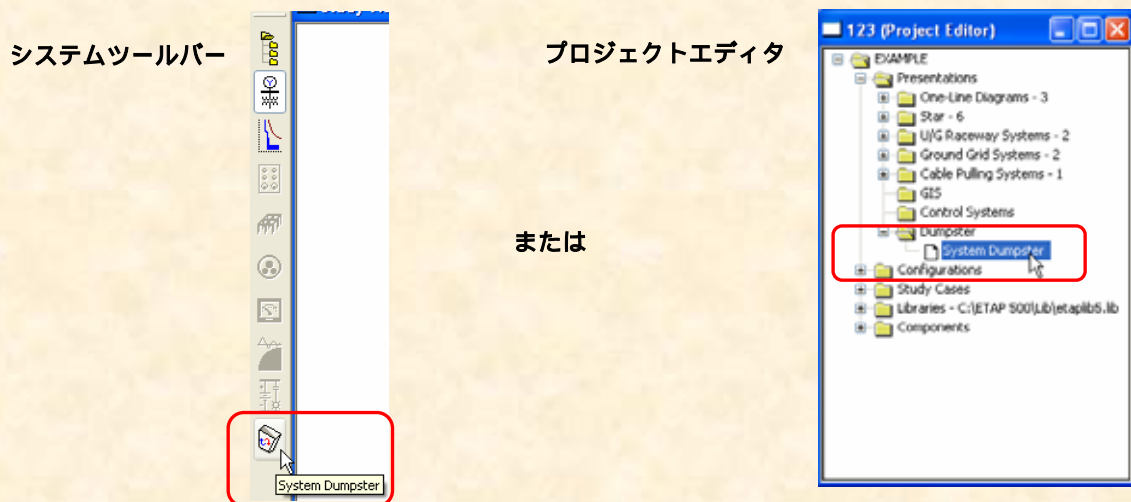
注記：ごみ箱に置かれている母線の数も全体の母線の数としてカウントされます。

ごみ箱から要素を消去する理由は下記の 2 つです。

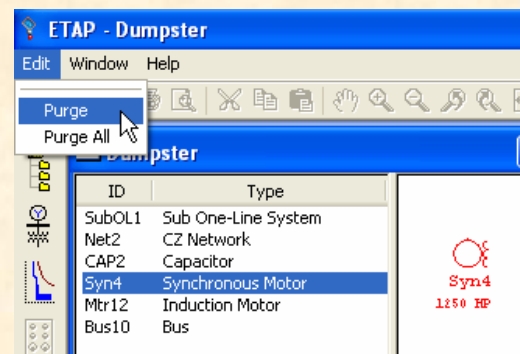
1. ごみ箱にある要素の ID を使えるようにする。
2. ETAP プロジェクト・データベースで完全に必要のない要素削除しプロジェクトを軽くする。

操作方法：

- a) 画面左側のシステム・ツールバー (ETAP 5.0 以降のバージョン) の “System Dumpster” アイコンをクリックする。あるいは、プロジェクトエディタの “System Dumpster” フォルダをダブルクリックする。ETAP の画面が図 1 (次頁) のように変わります。



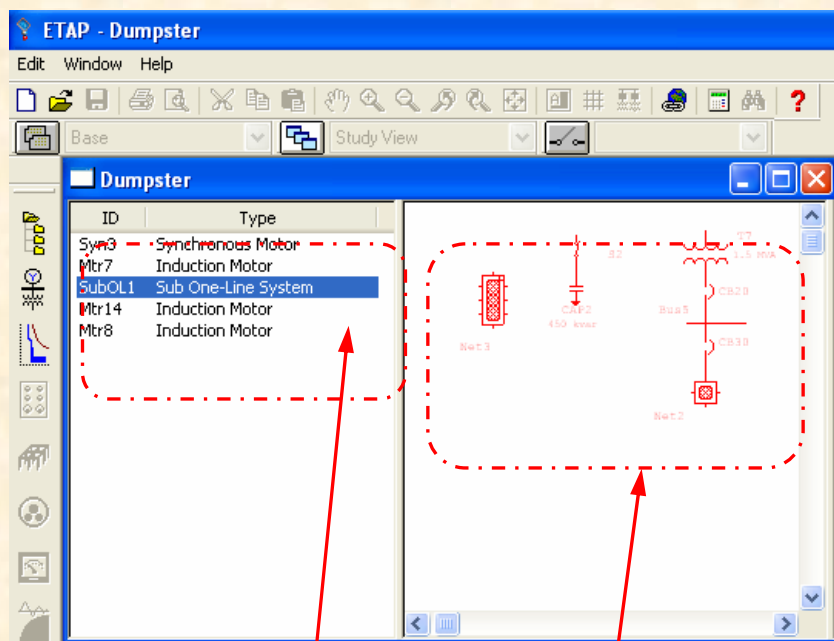
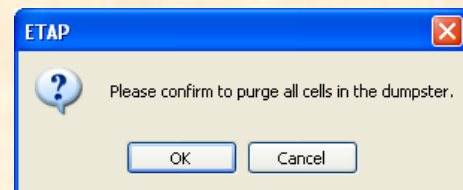
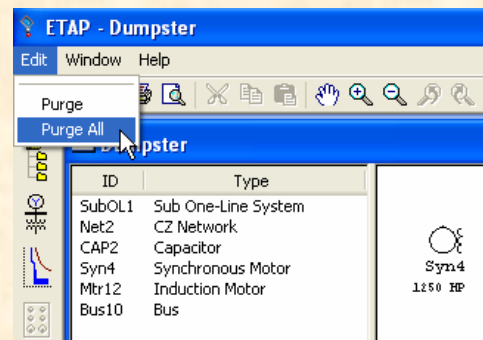
- b.1) 選択した要素だけを消去するには、
⇒ “Dumpster Window” 左側の枠から消去したい要素を選択する。
⇒ メニューバーから “Edit” => “Purge” を選択する。



- b.2) 全てのエレメントを一括消去するには、
- ⇒ メニューバーから “Edit” => “Purge All” を選択する。
 - ⇒ “OK” をクリックする。

注記：

ETAP プロジェクトのパスワードが有効な場合、ごみ箱の情報に鍵がかかります。これを “Controlled Dumpster” と呼びます。“Controlled Dumpster” として規定されたエレメントは消去できなくなります。詳細はユーザガイド (Etap 5.0) Chapter 3 page 3-42 (Controlled Dumpster) をご参照下さい。



アクティブなエレメント

アクティブ (選択された) なエレメントの内容

図 1 - ごみ箱 (System Dumpster)